

## 鈴鹿ツイントロフィーレース

2014.4.29 公式通知 No.3 (改訂版)

## 全クラス宛/参加に関する再確認事項

1. 2014年MFJ国内競技規則および技術規則をよく確認すること。  
また、CBR250R ドリームカップ ライスボカップ 鈴鹿ツイントロフィーレース規則書を確認のこと。
2. 選手受付
  - ① 日時/場所 4月29日 7:05 ~ コントロールタワー前
  - ② 提示、提出物
    - 1) 参加受理書 メール受理内容提示、またはプリントアウト(当日受付にて事務局より受け取りも可能)
    - 2) ライダーはRSM会員証(この度、同時申請の方※は免許証)およびピットクルーのMFJライセンス  
※同時申請のRSM会員証は、当日配布する。RSM会員の確認ができない場合は、出走できない。  
**MFJライセンスでは、参加できません。4/25まで**に大会事務局に連絡をし、確認を取ること。
    - 3) 印鑑
  - ③ 配布物  
選手受付時に車番発信器が配布される。
3. 公式車両検査(場所:事務局前、但し、雨天の場合は9番ピット)
  - ① タイムスケジュールに従い車検場で行われる。(時間厳守のこと。)
  - ② 参加受理書兼車両仕様書を持参のこと。(車両仕様書には選手受付時に受付印が捺印されたものでなければならない。)
  - ③ 車検時に、下記装備品の検査も行うので、持参のこと。  
**1)ヘルメット(MFJ公認品) 2)レーシングスーツ 3)グローブ 4)ブーツ 5)ヘルメットリムーバー**  
**※背髄パッド、チェストパッドは推奨なので、装着が望ましい。**
4. 予選・決勝のコースイン、決勝の周回数  
コースインは、全クラス予選・決勝とも9番ピットより行います。  
決勝は12周、
5. 届け出書類
  - ① 決勝までにリタイヤの場合、それが確定した時点で速やかにリタイヤ届けを大会事務局に提出すること。  
(車番発信器を返却とともに申告のこと)
  - ② 決勝出走嘆願書は**暫定予選結果発表後30分以内**に大会事務局に提出すること。  
(予選計測ができなかったものも含む。)
  - ③ 届け出書類で不明な点があれば大会事務局に問い合わせること。  
**問い合わせは大会4日前(4/25)の午前中までをお願いします。(準備の為、移動します。)**
6. ピットの使用について
  - ① 指定ピットは、設定しておりません。  
また、ツインサーキット走行枠に参加される場合は、No1から7までのピットも使用できる。
  - ② **タイヤウォーマーの使用は各自で発電機を準備すること。**  
※サーキット施設、ピットの電源を使用しての、タイヤウォーマーは禁止する。
  - ③ トランポは、ピットに面して駐車をしないこと。指定の場所まで移動してください。
7. 車番発信器の返却について  
決勝レース終了後、**大会事務局**へ返却すること。
8. 賞典 賞典については次の賞を設ける。  
・ST150 優勝 ・CBR250Rドリームカップ (Eクラス 1位から6位まで、Bクラス 1位から3位まで)
9. ウェットレース時のタイヤ制限  
ウェットレースの場合は、タイヤの使用本数は制限しない。またレインタイヤの使用を認める。その場合は、タイヤウォーマーの使用も自由とする。
10. ブリーフィングについて  
ブリーフィングは必ず参加してください。
11. 決勝の出走クラスと台数について  
決勝はST150、CBR250Rドリームカップ混走で開催、混走なので、総合で20台とする。

**注意事項：マナー違反の適用について**

- ・サーキット内でのゴミ処理が問題になっています。基本的にサーキット内ではゴミを捨てないでください。廃タイヤ、車体の破損物(プラスチック、FRP部品、金属部品等)は、必ず持ち帰ってください。たとえ場内にゴミ箱があっても、これらは施設の清掃用ですので、廃棄処理に費用が発生します。ゴミの廃棄が発覚した場合は、その参加関係選手はマナー違反で失格の罰則とします。